

5, 研究構想 (令和7年度)

瑞穂市立本田小学校

学校の教育目標

みつけ たすけあい やりぬく子

【学校課題】

- 自分の思いを相手に進んで伝えようとするができる。
- 自分の思いを伝え、仲間と考えを深めるために議論する楽しさを実感している。
- 道徳的行為に関する体験を想起し、自己見つめの場面で自己の生き方を考えられる児童が増えた。
- △仲間の考えから自分の考えがどう変化したか、児童自身が自らの考えの変容を自覚する力が十分ではない。

【めざす子どもの姿】

共に生きる喜びをつくりだす子

- 互いに考えを伝え合い、よりよい生き方を追求し実践できる子
- 自己を見つめ、主体的に判断し、行動できる子

研究主題

共に生きる喜びをつくりだす子の育成

～仲間と共に自己の生き方について「考え、議論する」道徳の時間の在り方～

研究の仮説

道徳の時間において児童が主体的・対話的に考え、議論しながら、自己の生き方について考えを深め自己の変容を表出し実感できるよう、発達段階に応じた手立てを講ずることで、全教育活動においての道徳実践力を育み、「共に生きる喜びをつくりだす子」を育成することができる。

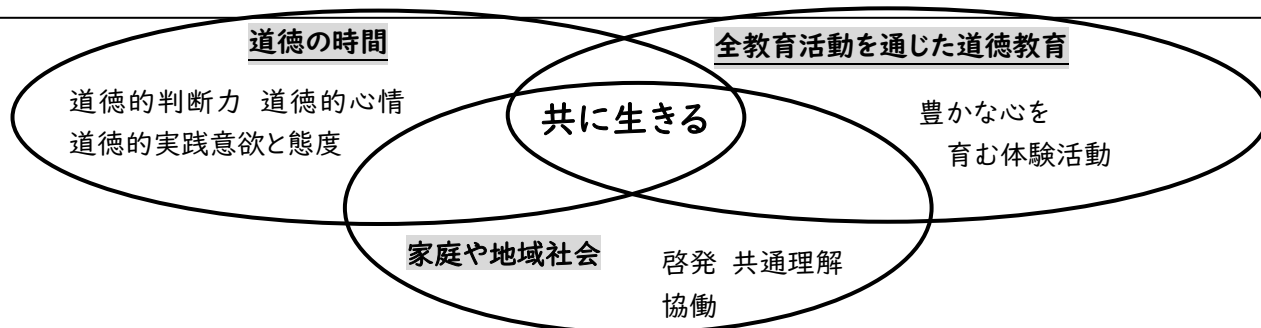
研究の内容

1 「考え、議論する道徳」を実現するための指導過程の工夫

- ・児童の実態と思考の流れに即したねらいと展開について
- ・発達段階に応じた「考え、議論する」手立てについて

2 自己を見つめ、よりよい自己の生き方の実現に向かうことができる指導援助の工夫

- ・自己の考えの変容を表出する活動の工夫
- ・道徳的行為に関する体験を想起できるような指導・援助



学年部	低 学 年 部	中 学 年 部	高 学 年 部	特別支援部
重点内容 項 目	A－(5) 希望と勇気, 努力と強い意志 B－(6) 親切, 思いやり C－(12) 勤労, 公共の精神 D－(17) 生命の尊さ			

